

平成 28 年度 第 3 回焼津市高齢者保健福祉計画推進協議会
第 3 回焼津市介護保険運営協議会

(平成 29 年 3 月 23 日開催)

※会議録作成にあたっての留意事項

- ① 本会議録は、会議要旨の概要報告用として作成したもので、委員各位の意見及びそれに対する事務局の説明については、省略されている箇所もある。また、事務局の議案説明は省略してある。
- ② 委員の意見または事務局の説明の中にある（ ）書きは、意見または説明内容が理解しやすくなるための配慮で、記録者が書き加えたものである。

<以下本文>

- 1 日 時 平成 29 年 3 月 23 日 (木) 午後 1 時 00 分～午後 1 時 55 分
- 2 場 所 焼津公民館 会議室 5、6
- 3 出席者 (委 員) 石川英也会長、川村進太郎副会長、原川光世委員、石神とみ子委員
平田五子委員、伊藤 敦委員、岡本喜美子委員、山川俊博委員
栗原武志委員、寺尾早都美委員、甲賀明子委員、和田裕樹委員
藁科信行委員
(欠席者) 長谷川恭司委員、安留孝子委員
(事務局) 小泉長寿福祉課長、鈴木健康増進課長
鈴木認定担当主幹、原田保険給付担当主幹、小野田地域支援担当係長
飯塚高齢者福祉担当係長、吉田事業推進担当係長、村松成人保健担当係長
松村地域支援担当主査、鈴木地域支援担当主任主事、山梨地域支援担当主査

4 内 容

- (1) 開会
- (2) 会長挨拶
- (3) 議事

報告事項

- ①平成 28 年度焼津市高齢者保健福祉事業及び介護保険事業の実施状況について
 - (ア) 健康づくりの推進について
 - (イ) 高齢者福祉サービスについて
 - (ウ) 認知症施策の推進について
 - (エ) 介護予防事業・二次予防事業について
 - (オ) 介護保険認定の状況について
 - (カ) 介護サービスの利用状況について
 - ②平成 29 年度焼津市介護保険事業特別会計当初予算
 - ③「第 8 期ほほえみプラン 21」策定に係る高齢者の生活と意識に関する調査
- (4) その他
 - (5) 閉会

(6)

【議事録】

小泉課長	ただ今より、平成 28 年度第 3 回焼津市高齢者保健福祉計画推進協議会並びに第 3 回焼津市介護保険運営協議会を開会します。
小泉課長	議事に入ります。議事の進行は石川会長にお願いします。
石川会長	報告事項①②③について事務局より説明をお願いします。
吉田係長 飯塚係長 松村主査 村松係長・鈴木主任主事 鈴木主幹 原田主幹 原田主幹 小野田係長	報告事項①平成 28 年度焼津市高齢者保健福祉事業及び介護保険事業の実施状況の説明 (ア) 健康づくりの推進について (イ) 高齢者福祉サービスについて (ウ) 認知症施策の推進について (エ) 介護予防事業・二次予防事業について (オ) 介護保険認定の状況について (カ) 介護サービスの利用状況について 報告事項②平成 29 年度焼津市介護保険事業特別会計当初予算の説明 報告事項③「第 8 期ほほえみプラン 21」策定に係る高齢者の生活と意識に関する調査の説明 *調査結果については、次回来年度第 1 回の協議会で報告させていただく。
石川会長	今の報告について何かご意見、ご質問はありますか。
山川委員	特定健診の受診率が低いということだが、健診の対象者である国保の被保険者は増えているのか、減っているのか。関心が低いということか。
村松係長	特定健診対象者である 40 歳から 74 歳までの人数は、昨年度は 25,000 人くらい、今年度は 24,000 人くらいでほぼ同じである。昨年度は受診者がかなり増えたが今年度は減っている。受診率が低いのはまちの大きな課題であり、医師会、自治会、保健委員と活動しているが、引き続きもっと増えるように努力をしていく。
鈴木課長	平成 26 年度からは、特定健診受診率の低い自治会の全戸訪問を実施している。継続して全戸訪問を行っていく。
山川委員	平成 29 年度予算で基金取り崩しは、最終年度ということで全額取り崩しているのか。
小泉課長	基金取り崩しについては予算計上しているが、全額ではなく計画上の金額としている。まだ 3 億 8 千万円くらい残っている。
和田委員	以前質問したが、認定結果が遅れていて、調査員を増やしたり対応するとのことだったが、結果が早く出るようになったか。
鈴木主幹	認定結果については、まだ遅れている状況である。調査員の退職補充や、居宅介護事業所や個人への外部委託を増やすなど対応している。
平田委員	大井川地区の人達は藤枝に行っていて、焼津は焼津で健診をやっている。大井川の人達は決まった日にバスが来てくれると聞いたが本当か。
吉田係長	大井川地区の人達は、志太医師会検診センターで特定健診など集団健診を実施している。バスについては、市ではなく志太医師会の厚意で地区に集合して送り迎えを

	している。大井川地区の人達は個別健診も選べる形となっている。
平田委員	焼津地区で交通の便が悪いところの人達が聞いたら、同じようにしてもらいたいと思う。だから受診率も少ないのではないか。
吉田係長	焼津地区の場合は、大井川地区とは少しスタイルが違い、集団健診ではなく近くのかかりつけ医での個別健診となっている、近所の開業医で受診することが出来る。
平田委員	そういうことを知らない人もいると思うが。
吉田係長	毎年5月に対象の方には、受診券を送っているが、見ない人やそのまま捨ててしまう人もいるので、今年度は魚河岸柄の封筒を使ったり目に留まるような工夫をしている。
川村委員	介護タクシーの話はどうなったか。
原田主幹	前回の話の続きになるが、アンビ・アが3月に辞めるという話を受けて居宅介護サービスの事業所に状況を聞いた。2月16日に電話照会を行い、つい先日再度確認をした。アンビ・ア利用者のほとんどが藤枝市内の事業所と契約しており、2人ほど未契約者がいるが、年に1度とか半年に1度であり、必要になった時に契約することと、概ね移行が完了している。
小泉課長	12月にすべての居宅介護事業所にアンケートをして、6割くらいの事業所は対応しているとのことだった。2月16日、17日に再度確認し、170人くらいのうち150人くらいについては、藤枝市内の事業所や福祉タクシー、その他で対応が済んでいて、現段階ではケアマネージャーや受け入れ側の努力で、ほとんどの人は予定がたった。
石川会長	トラブルもなくスムーズに移行しているということか。
原田主幹	概ね大丈夫だとは思いますが、4月以降にどんなトラブルが出てくるかは、受け入れ能力や時間調整が必要であり、少しは苦情も出るかと思う。ある事業所では車を購入したり、運転手を募集したり事業拡大も見られるため、だんだん収束していくのではないかと思う。
伊藤委員	福祉タクシーの人への対応はどうなるか。
小泉課長	福祉タクシーについては、こちらでは統計はとっていない。11月にアンビ・アに聞いた話では、福祉タクシーについては車両が続くまでは続けて、廃車になればやめるとのことだったが、その後に方針が変わっていればわからない。
石川会長	(当日、石川会長の配布資料による) <ul style="list-style-type: none"> ・ 県特養の指針の10年ぶりの改定(ダブルケアの優先入所)について ・ 地域医療構想について ・ 介護職員による高齢者への虐待について ・ 静岡市のコンビニでの介護保険料納付について ・ 介護事業所の倒産について
小泉課長	石川会長、どうもありがとうございました。それでは第3回焼津市高齢者保健福祉計画推進協議会並びに第3回焼津市介護保険運営協議会を終了します。